

カメラだより

刈谷での出来事を写真付きで紹介します。



親子で楽しく！元気に！

中央子育て支援センター(9月25日)



子育て講座「親子でキッドビクス」で24組の親子が楽しく体を動かしました。音楽に合わせて乗り物や野菜のダンスをしたり、手をつないで作った籠でキノコを収穫したり、パパやママの体で作ったトンネルをくぐったりと、全身を使ったさまざまな遊びを体験。初めての動きに子どもたちは大はしゃぎで、「もう1回！」と何度も繰り返し、会場にはにぎやかな歓声が響きました。

貼り絵でおばけができたよ！

美術館(9月26日・27日)



企画展「せなけいこ展」のワークショップで、貼り絵の手法を用いておばけを作りました。親子で話し合って体や目、口の形を決め、画用紙をちぎって台紙に貼り付けていくと、ちぎった紙の温もりを感じられるかわいなおばけが誕生。周りにも、紙やシールなどで装飾を施し、笑顔のおばけ、舌を出したおばけ、リボンを付けたおばけなど、個性豊かなおばけたちができました。

高齢者のための安全運転講習会

刈谷自動車学校(9月27日)



市シルバー人材センターの会員約30人が参加した安全運転講習会。講話では、高齢者が車を運転する際に注意すべき交通ルールや危険予測のポイントを学び、実走訓練では交差点での安全確認や車両感覚の確認を行いました。参加者は「高齢者の事故が増えているので、まだ自分は大丈夫と思わず、人一倍安全運転に努めたい」と話し、交通事故防止に向けた知識と技能を再確認する機会となりました。

想いを集め、ひとつに。

みなくる広場・刈谷駅(10月11日)



第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)の開催に向けて行われた採火式と聖火リレー。採火式では、市広報大使の赤星憲広氏と市長のトークセッションが行われ、大会の見所や聖火リレーへの意気込みなどが語られました。アジアパラ競技大会刈谷市の火がトーチに灯され、9人のランナーが5区間でトーチをつなぐ聖火リレーがスタートすると、観客は旗を振ったり、手話で拍手を送ったりしてランナーを応援しました。